

農村環境の維持・活動の研修会に地域リーダーら約 930 人 (平成 28 年 11 月 16 日)



本年度の「農村環境の未来を考える研修会」が 11 月 16 日、山口市内の山口県総合保健会館であった。県内各地で農地・農業用水などの資源の保安全管理や地域コミュニティの維持などに取り組む活動組織のリーダーら約 930 人が参加し、将来に向けた活動のあり方を考えた。

山口県日本型直接支払推進協議会主催。吹田愷会長は「農村地域は過疎化、高齢化、後継者不足が進行し、農業・農村が有する多面的機能の維持が困難になっている。地域ぐるみの活動を支援する多面的機能支払交付金事業を活用して、積極的な取り組みを行ってほしい」とあいさつ。

それから、生態系保全等の活動を通じて地域のコミュニティケーションを図り、活気ある地域づくりを継続しているとして、岩国市大坪水系保全隊に、平成 28 年度山口県日本型直接支払推進協議会会長賞が授与された。

続いて、坂井康宏中国四国農政局長が土地改良の情勢を報告。農林水産業・地域の活力創生プランや農村の多面的機能の維持・発揮を図るための日本型直接支払制度の政策的な位置付け、2020 年度までを期間とする新たな土地改良長期計画のポイントなどを解説した。

事例発表では、長門市農林課市川裕之係長が、推進協議会が大きなテーマとして掲げる「活動組織の広域化推進について」、市内 4 広域組織を統合合併した経緯を紹介した。

また、周南市向道環境保全会の井上正幸代表が「ふるさと彩生！シバザクラが咲いてみんな元気になった！」(平成 27 年度中国四国農政局長最優秀賞)と題して地域活性化の原動力となった多様な取り組みの説明をおこなった。

最後に、地域文化フリーライターの石井里津子さんによる「ニッポンの農村が教えてくれること」をテーマとした人と自然が織り成す農村の魅力を発掘した基調講演があった。

平成28年度 農村環境の未来を考える研修会 Vol.9

オープニング・・・岩国市向峠神楽保存会（向峠環境保全会）



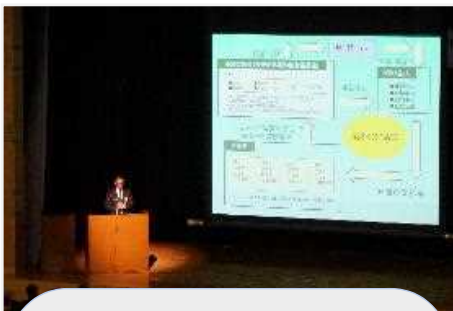
～心をつなぐ美しい里づくり～



坂井中国四国農政局長祝辞



会長賞表彰 岩国市大坪水系保全隊



事例発表① 長門市農林課 市川係長



事例発表② 向道環境保全会 井上代表



基調講演 石井里津子さん

編集・発行：〒753-0079 山口市糸米 2-13-35
山口県日本型直接支払推進協議会

(県土連ビル 1F)

TEL 083-933-0755

FAX 083-933-0756

<http://www.tamenteki-yamaguchi.jp>